



令和7年度 SDGs推進レポート集

作成協力:山梨大学

1. 印伝の山本
2. 株式会社クリア
3. 甲府信用金庫
4. 国際建設株式会社
5. 株式会社テレビ山梨
6. 東京ガス山梨株式会社
7. 特定非営利活動法人マイプラ対策室
8. 株式会社湯村自動車学校

作成協力:山梨学院大学

1. 株式会社オズプリンティング
2. 株式会社ココルフ
3. 日本たばこ産業株式会社山梨支社
4. 生活協同組合パルシステム山梨 長野
5. リコージャパン株式会社山梨支社甲府事業所



甲府市



甲府市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

SDGs推進レポート集とは？

甲府市が、「SDGsの推進に関する連携協定」を締結したリコージャパン(株)山梨支社と、市内大学との産学官連携により取り組む「若者によるSDGs普及啓発事業」の一環として、SDGsの達成に向けて取り組む企業・団体として登録されている「甲府市SDGs推進パートナー」を学生が取材し、登録パートナーのSDGsの取組内容をPRするレポート集を作成しました。

◆産学官連携で取り組む「若者によるSDGsの普及啓発事業」

市内大学の学生が主体となり、子どもから若者、高齢者までの幅広い世代にSDGsの理解を深め、具体的なアクションへと繋げてもらうための普及啓発に取り組みました。



取材の様子





山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI

令和7年度 SDGs推進レポート集 ～山梨大学～

私たちが取材した
SDGs推進パートナー
8団体の活動を
ご覧ください



作成協力団体

1. 印伝の山本
2. 株式会社クリア
3. 甲府信用金庫
4. 国際建設株式会社
5. 株式会社テレビ山梨
6. 東京ガス山梨株式会社
7. 特定非営利活動法人マイプラ対策室
8. 株式会社湯村自動車学校

山梨大学 生命環境学部 地域社会システム学科

中村 海月
橋爪 海斗
土橋 奈央
鈴木 拓伸
若尾 航太郎
松田 海音
石丸 賛
津出 和之

印傳の山本



印傳の山本では、日本国内で唯一の伝統工芸士（総合部門）である職人が、山梨の伝統的工芸品である「甲州印伝」を製造・販売しています。



甲州印伝 伝統工芸士
山本 裕輔 さん

SDGSの活動を継続させるためには、私だけでなく、多くの方の協力が必要となります。考え方にご理解をいただき、みなで力を合わせていくことが大切だと感じています。これはSDGSに限ったことではなく、伝統工芸を後世に残していくためにも同じことが言えます。印伝を未来につなぐために、私ひとりだけでは、皆さんとも頑張りたくらいと思っています。

SDGSへの想い



印傳の山本

☎ 055-233-1942

〒400-0862 山梨県甲府市朝気3丁目8-4

12 つくる責任
つかう責任



安定した生産 体制づくりを

印伝づくりでは、一般的に中国産の鹿革と漆が使用されますが、印傳の山本では山梨県産の白い鹿革を使用して、「URUSHINASHIKA」というブランドを立ち上げました。山梨県産の鹿革は、とても柔らかく触り心地が良いです。過去に中国からの供給が止まってしまった経験から、地域の素材を活かしながら、安定したものづくりの体制を築いています。

将来的には、印伝に使用される漆も国産・山梨県産のものを使用して、より地域に密着した製品をつくりたいと考えています。



伝統と新しい挑戦

スターバックスやふじやま織、キヤラクターを扱っている企業など、さまざまなブランドと協力しながら印伝の可能性を広げてきました。

ペーパーカップ形状の陶器カップと甲州印伝スリーブのセット販売や、今までになかった織物とのコラボなど、互いの良さが新しい形で引き出されたコラボとなりました。

また、印傳の山本は、カラフルに染めた鹿革が特徴的で、そのカラフルな鹿革を活用することで、コラボ先のイメージカラーに合わせたオリジナル印伝を制作することができています。

多くの企業との共同制作を通じて、地域資源を活かした持続可能な製品を広く社会に届ける取り組みを進めています。

取材チーム

中村海月 土橋奈央

若尾航太郎 石丸賛

窓で守る。 甲府の 快適な暮らし、 地球の未来。

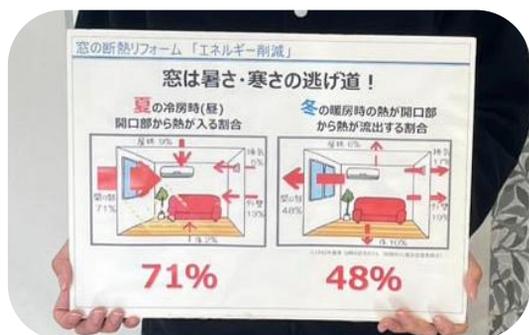


真空ガラスで
6.2度の差！

※電球を太陽熱に見立てた実験

★ なぜ「窓」？

実は、家の中で最も熱の出入りが多いのは「窓」。夏は71%、冬は48%もの熱が、窓から出入りしています。



★ 信頼・実績

＼CO₂削減貢献量／
13.1トン 達成！

※ 2023年4月～9月実績

お客様の快適な暮らしを
実現する

「窓の断熱リフォーム」
は、これだけのCO₂削減、
つまり地球温暖化防止の
アクションに繋がって
います。



★ 私達にお任せください！

＼お気軽にご相談ください！／
「窓の補助金相談会」実施中

お客様に最適なお提案はもちろん、面倒な補助金申請の代行まで、きめ細かくサポート!!

「人」と「地球」を想う、 クリアの SDGs ACTION

★ ACTION 1: 高め合う文化

社員全員で資格取得を目指し、
定期的に勉強会を実施。
地球温暖化防止の一翼を担う意識を
共有しています。



【写真：SDGsの取組みに関する取材の様子】

★ ACTION 2: 誰もが輝ける環境

私たちの会社は男女比がほぼ半々。
性別にとらわれず、誰もが活躍できる
環境づくりを推進しています。
丁寧な窓口対応や高い技術力など、
社員それぞれの持ち味を活かしてお
お客様の悩みに応えます。



【写真：スタッフの皆様と学生取材班】

★ OUR MISSION

山梨の既存住宅の多くは、まだ断熱されていません。その「窓」が暮らしの快適さ、健康、省エネにいかにか大切かを伝え続けること。それが、2050年のカーボンニュートラル実現へ繋がる、私たちの使命です。

株式会社クリア

〒400-0867

山梨県甲府市青沼2丁目23-14

やまなしSDGs登録企業

甲府市SDGs推進パートナー



クリアの
窓の店



株式会社クリア

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

あなたの未来へ こうしんと

甲府信用金庫



甲府信用金庫は地域のための金融機関。
地域・お客さまとともに発展・繁栄することを目指し、地方創生の推進に取り組み、お客さまとFACE TO FACEで向き合い、地域企業への経営サポートやお客さまお一人お一人のライフステージに応じた支援を行っている。また企業の社会的責任（CSR）として、地域の次世代を担う青少年の育成や、地域活性化のための貢献活動にも力を入れている。

SDGs活動への思い

甲府信用金庫では「地元中小企業の健全な発展」「豊かな県民生活の実現」「地域社会繁栄への奉仕」を掲げており、これらの理念はSDGsの考え方と深くつながっている。また地域金融機関として、SDGsを通じた地域経済の活性化や新たな産業創出に貢献するとともに、収益だけでなく地域への貢献を重視した企業成長の支援を大切にしている。コスト削減や企業のイメージ向上など多方面で企業を支援していきたい。



マスコットキャラクター
武田の信ちゃん

SDGsの取り組み



キッズフリマ



甲府信用金庫は山梨県で唯一「キッズフリマ」を開催している金融機関。キャッシュレス化が進む今だからこそあえて会場では現金のみのやり取りを採用し、ブースには小学生以下の子どもだけが入れる仕組みを導入。子どもたちは売り買いの体験を通して、お金の扱い方やコミュニケーションを学ぶことができる。また、自分が使っていたものに新たな価値を見つけて販売することで、リユース・リサイクルの意識を育むことにもつながる。

金融教育×バスケットボール教室



本店近くの舞鶴小学校の5年生を対象に、「金融教育×バスケットボール教室」を開催。金融講座では、金融機関の業務内容の紹介や、お金の役割を知ってもらうためのクイズを実施。バスケ教室では、クイーンビーズの3選手が直接指導。子どもたちにとってバスケットボールの楽しさや、プロスポーツ選手を間近に感じる貴重な機会となった。



甲府信用金庫本部

〒400-0031

山梨県甲府市丸の内2丁目33番1号

<https://www.kofushinkin.co.jp>

取材チーム

石丸賛 土橋奈央 中村海月 若尾航太郎

国際建設株式会社

〒400-0026 山梨県甲府市塩部4-15-5 TEL. 055-251-2111



事業内容

- ・土木(上下水道工事など)
- ・建築(公共施設、事務所、住宅など)
- ・インフラ整備(トンネル、道路など)
- ・官公庁から民間まで、幅広い工事を施工



特徴

- ・山梨県甲府市を拠点に、東京支社、相模原営業所など複数の拠点
- ・一級土木施工管理技士や一級建築士などの資格者が多数在籍



学生から見た国際建設株式会社

- ・地域に密着しており、山梨を支える安定した企業という安心感がある
- ・ドローンなどの新しい技術を積極的に導入し、技術革新に取り組む姿勢がある
- ・SDGsや環境、防災の取り組みが多く、社会に貢献できる仕事ができる

実績例

・甲府駅北口ペDESTリアンデッキ

・山梨県立図書館



地域とともに未来を作る国際建設

—SDGs・ICT・防災で持続可能な街づくりを—



ドローン×ICTで現場を革新

- ・ドローンによる3次元測量で、施工精度・効率が向上
- ・今後はLiDAR搭載ドローンやハンディスキャナーを導入予定

高精度・安全施工の実現

防災とSDGsで築く、安心のまち

- ・自然災害、インフラの老朽化への対策
- ・生物多様性への配慮、地域産材の利用
ゼロエミッションへの貢献



安心安全で持続可能な街の実現

5S+1 運動実施中 ～コミュニケーションをとりましょう～



国際建設株式会社
当社では、職場環境の維持・改善のため5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）に「習慣」のSを加えて5S+1（整理・整頓・清掃・清潔・躰・習慣）運動を推進して労働災害防止に努めています

「5S+1運動」で美しい現場へ

- ・整理・整頓・清掃・清潔・躰+習慣
- ・教育・掲示物等による社員の意識向上

働きやすい環境の実現

地域社会・社員への支援

- ・健康診断・がん検診などの支援制度
- ・文房具を福祉施設や教育機関へ寄贈

人と環境のすべてを大切に

未来の担い手へ

- ・高校・大学での授業やインターンシップ実施
- ・若い世代がSDGsを学ぶ機会を提供

共に、持続可能な未来を築く



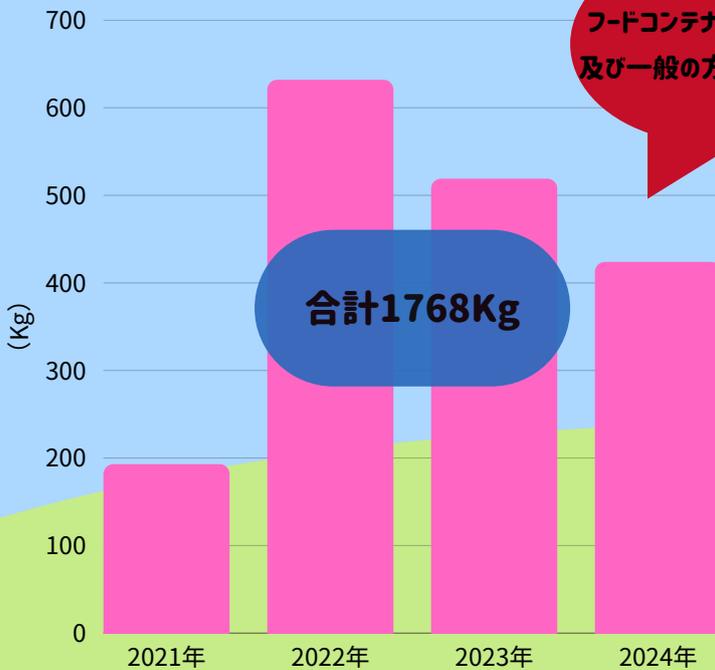
山梨から持続可能な未来へ



テレビ山梨 × SDGs

学生によるインタビューを通じて見えたSDGsへの思い

フードバンクへの寄付量



フードコンテナをロビーに常設し社員及び一般の方から寄付を随時受付



SDGsへの取り組み

自社イベント、エコフェスを2023年より開催
全社員に運営参加を義務付け
↓
農家さんに声を掛けたり、地産地消を行ったりする社員も

国連SDGメディア・コンパクト

国連SDGメディア・コンパクトに加盟
↓
様々な機関と連携して、意識の明確化・温度感の上昇を推進

発信!やまなしSDGs

県内企業のSDGs活動をPR
↓
視聴者の方が自分にもできるかもという発想のヒントに。
波及効果で企業のさらなる推進も応援

株式会社テレビ山梨

山梨県甲府市湯田2丁目13番1号

055-232-1111

担当: 経営管理室 山本



UTY
SDGs



重点的に取り組む目標

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



テーマ1

住みたい場所・住みやすい場所・山梨

地域の課題を知る→一人ひとり考える→行動する→より良い社会をめざす

テーマ2

人づくりの応援

子どもたちを番組で取りあげる→子どもたちの励みや保護者の理解につながる
体験の機会を設ける→多様な人たちの交流の機会になる→認め合い、助け合う
社会につながる

テーマ3

環境保全

課題を知る→環境負荷の削減に繋がる行動をする

テーマごとにサイクルを設定し5つの目標を通じて、3つのテーマの具現化を目指す

テレビ局の強み

SDGsを積極的に実践している人たちと、これからの人たちを繋げることがテレビ局の役割

ニュースで取り上げて、それを視聴してもらうことで、自分にもこういうこともできるんじゃないかな?と、参考にする、考えるきっかけを与える

環境インフラの整備は、私たちの暮らしの豊かさに直結している



ガスがあると、山梨の冬が快適に暮らせるなあ～

SDGs: 環境面での取り組み

お客様の環境負荷の低減

- 消費エネルギーの多い工場やホテルなどでは環境負荷低減のために、CO2排出量を報告しなければならない。そのようなお客様の環境指標の達成やコスト削減、安定稼働等のために都市ガスやプロパンガスを販売している。CO2のみで言えば、石油から天然ガスに燃料を変えるだけで、同じエネルギー量当たりのCO2排出量を30%減らすことが出来る。
- 日本の一世帯の一年間の平均CO2排出量は約5～10t。とある工場の事例では、重油から都市ガスに変えたことで約400tのCO2排出量の削減が出来た。これは約40世帯分のCO2排出量を削減したことと同じ。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



13 気候変動に
具体的な対策を



11 住み続けられる
まちづくりを



SDGs: 人や働きやすさに関する取り組み

ストレスフリーな職場

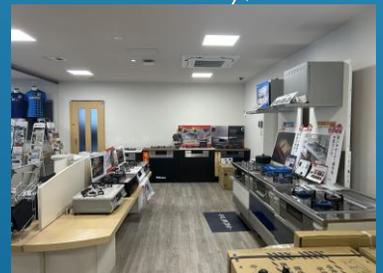
- ・ 内勤の社員の服装の自由度が高まった。
- ・ 資格取得の際の援助も金銭面だけでなく、必須資格に関しては就業時間内にも勉強が可能。
- ・ 土曜日に出勤する日の振替休日がなかったが、働き方改革の一環で振替休日が出来た。他にも半日休暇を使うほどではないが、アクシデント、子供の送迎など短時間の用事がある方に優しい時間休暇という制度が出来た。
- ・ より自身にあった働き方、ワークライフバランスのとりやすい職場になった。



取材・展示品の様子・感想

何気なく使っていてあまり注目をしてこなかったガスについて、SDGsという視点や生活との結びつきという点から学ぶことができた。

今回取り上げた以外の活動もホームページに載っているのでぜひ覗いてみてください！





使うだけで、SDGs。

マイプラ対策室は、2018年頃にプラスチックによる環境汚染が注目されたことを受けて、マイクロプラスチック問題の解決に貢献したいと考え、2019年に特定非営利活動法人として設立されました。

県産材の新しい活用方法を広げること、環境対策、障害者雇用の創出を目的とし、地域の資源と人をつないで、持続可能な社会づくりを進めています。

FSC認証された山梨県の木材から作られた紙を原材料として使用した紙ストロー、**フォレストロー**を作製しています。従来の紙ストローは使用感に課題が多いと指摘されてきましたが、フォレストローは品質にこだわり、へたりにくく、紙のにおいがせず、口紅もつきにくい製品です。



特定非営利活動法人 マイプラ対策室
理事長 **藤原 行雄** さん

特定非営利活動法人
マイプラ対策室

山梨県甲府市朝気2丁目1-12

MAIL foret-straw@mipla-taisaku.org

TEL **055-288-8313**

受付時間 平日 AM 10:00 ~ PM 5:00



小さな選択が、森を守る力になる。

山梨大学の学生が取材を行いました！

FSC認証を通して伝えたいこと

FSC認証とは、森林を守るための国際的な認証制度です。この認証材を使った製品を選ぶことが、SDGsの達成にもつながります。FSC認証の価値をもっと多くの人に知ってもらいたいという想いで、学校や企業への説明活動を続けています。

「SDGsを推進するためには、FSC認証製品を使うだけで貢献できる」というメッセージを、多くの人に伝えたいと考えています。

広がる地域とのつながり

マイプラ対策室は、環境セミナーや学校訪問を通じて、FSC認証やSDGsの大切さを伝えています。今後は県内の企業や学校ともさらに連携を広げ、認証製品を使う輪を広げていく予定です。地域全体で「知ること」から変わっていく。その第一歩を支える役割を担っていきます。

障がいのある方とともに

障がいのある方が働くB型事業所と協力し、木材の切断・採寸・かんな掛けなどの工程を担当しています。自分たちで素材の加工を行うことでコストを抑え、工賃を上げる仕組みを実現しました。

ものづくりを通して「やりがい」と「楽しさ」を感じられる環境づくりを大切にしています。

次のチャレンジ

今後は紙ストローに続き、ヒノキの端材や削りくずを活用したアロマオイルや、プラスチック製スプーンの代替製品といった新しい製品づくりにも取り組む予定です。

森林と人、そして地域の未来をつなぐ新たな挑戦が始まっています。

取材後記

実際に取材をして感じたのは、マイプラ対策室の活動は「環境への優しさ」と「人への優しさ」を両立しているということです。品質にこだわった製品づくりの裏には、障がいのある方々の丁寧な手仕事があり、一つひとつに想いが込められていることが分かりました。



交通安全で地域 を守る！ 湯村自動車学校



Q 教習所でSDGsってなにをするの？

A 地域の**交通安全**で地域を守っていくことで住み続けられる**まちづくり**につながります！



Q 交通安全で地域を守るって具体的に何をしますの？

A 地元の高校生に向けて**原付講習**を行い、**安全への意識**を高めてもらうことで地域内の事故を未然に防ぎます！



入校者大募集中です！

11 住み続けられる
まちづくりを



Q SDGsに向けて他に取り組んでいることはあるの？

A 教習バッグをプラスチックから**オーガニックコットン**と**GOTS認証***の染料を使ったものに変更しました！



*GOTS(ゴッツ)認証とは：Global Organic Textile Standard（グローバルオーガニックテキスタイルスタンダード）の略。環境にやさしいだけでなく、労働者の権利を尊重した国際的な認証基準。

A クリアファイルを**プラスチック**から**紙**のものに変更しました！



紙とプラスチックでは燃やす上で**CO2の排出量に約6倍の差**があります！
費用は紙の方が高いですが、**環境を守ることに価値がある**と思い変更しました！



A 職員全員に**SDGsバッジ**を支給し、**視覚的に意識**を高めます！



SDGsに対してできることが限られる自動車学校ですが、小さい目標をこまめに達成していきます！
会議資料の電子化やペットボトルキャップの回収も行い、持続可能な社会の実現に貢献します！

SDGsに取り組む企業や団体を
「甲府市SDGs推進パートナー」
として登録しています！



登録パートナーの一覧はこちら



甲府市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

甲府市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



甲府市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

甲府市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



令和7年度 SDGs推進レポート集 ～山梨学院大学～

私たちが取材した
SDGs推進パートナー
5団体の活動を
ご覧ください



作成協力団体

1. 株式会社オズプリンティング
2. 株式会社ココルフ
3. 日本たばこ産業株式会社山梨支社
4. 生活協同組合パルシステム山梨 長野
5. リコージャパン株式会社山梨支社甲府事業所

山梨学院大学 経営学部 経営学科

海野 沙季
保坂 梨乃
堀越 健斗
角田 凌羽
三宅 匠

”カタチ“にする印刷会社

お客様の「想い」を



WEBデジタル事業部 小澤美寿々さん
(インタビュー協力)

×

インタビュアー 海野沙季



～会社概要～

株式会社オズプリンティング

所在地：〒400 - 0032山梨県甲府市中央3丁目8 - 10

TEL：055 - 235 - 6010

FAX：055 - 232 - 4098

山梨学院大学経営学部 × オズプリンティング

＼オズプリンティングではこんな取り組みを行っています／

主なSDGsの取り組みは？

LIMEX（ライメックス）という、パルプ（木材由来の繊維）を一切使わない、石灰石を主原料とした紙を使用しています。

このLIMEXを用いて、ワインのラベルやフードロス削減かるたを制作しました。また、LIMEXはアルコール消毒にも強いため、コロナ禍でも感染予防をしながら安心して遊ぶことができます。

SDGsに取り組むようになったきっかけは？

ペーパーレス化に伴う紙の需要が減ってきている大きな転換期を迎えている状況の中で、コロナ禍でのステイホーム期間でした。

直接的な対面型の営業活動がしにくい中で、「この逆境をチャンスに変えよう」「このコロナ禍が明けた際に直ぐに動ける為の準備期間にしよう」と前向きに捉え、環境に配慮した商品づくりに挑戦し始めました。

なぜフードロスをテーマに？

フードロスをテーマにした理由は、3人の子どもの朝食づくりを通して、食べ残しなどの食品ロスを身近に感じたことがきっかけです。

野菜の皮を剥かずに使うなど、食べ物を無駄にしない工夫を、子どもたちにも楽しく学んでほしいと思い、家庭でも取り組めるフードロスをテーマにしました。

今後、挑戦したい取り組みは？

今後は、外国人の採用にも力を入れていきたいと考えています。

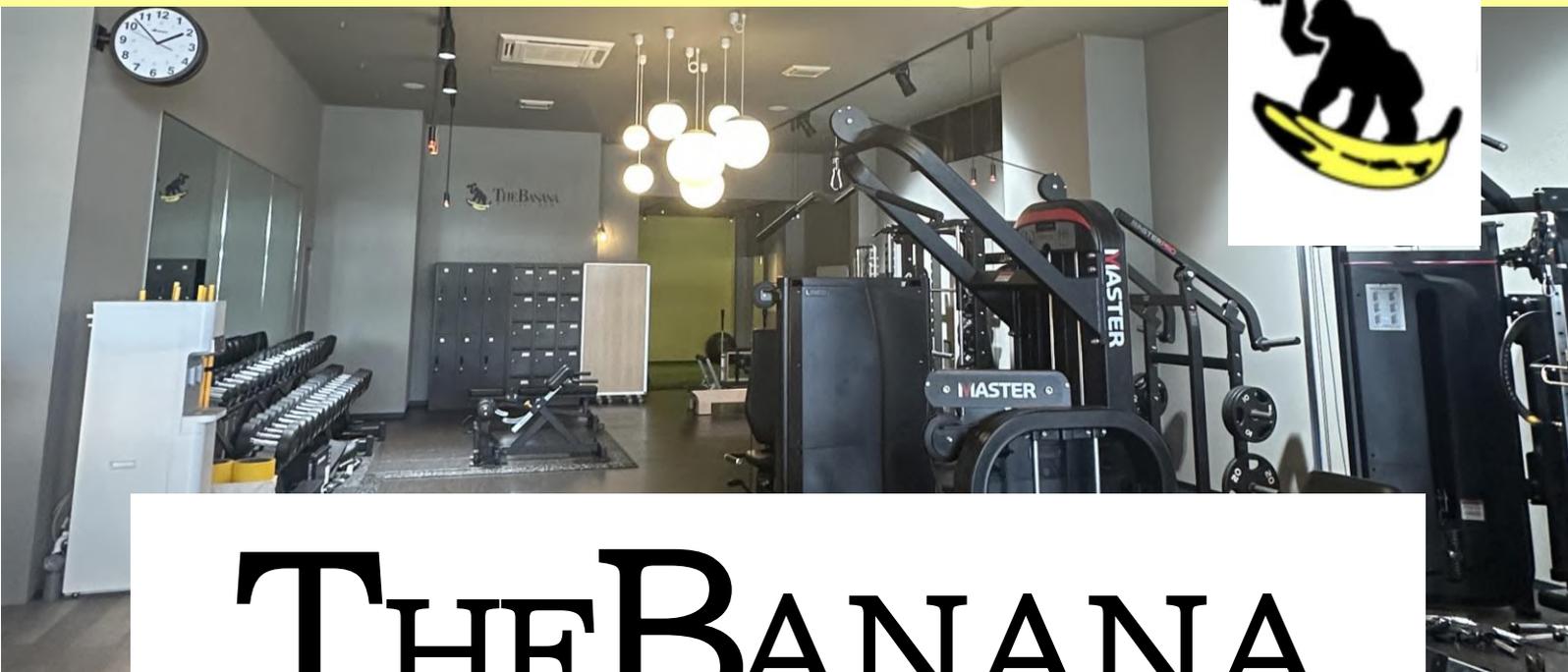
国籍や性別、年齢に関係なく、多様な人が活躍できる職場づくりを目指しています。これまでも留学生のインターンシップ受け入れや、外国人のお客様との関わりを通して、多様な文化や考え方に触れる機会がありました。今後は採用を通じて、互いに刺激し合いながらより良い会社づくりを進めていきたいと思っています。



フードロス削減SDGsかるた

オズプリンティングさんと山梨県の学生が共に制作したフードロテーマにしたSDGsかるた





THE BANANA

P r i v a t e g y m

SDGsの取り組み

法人向け 心身健康向上サポート

- 法人プランの提供
- ジムの使用
- 不調改善エクササイズ
- 健康課題セミナー

地域住民向け 健康づくりサポート

- 高齢者施設エクササイズ
- 高齢者向け健康イベント
- 若年層向け健康サポート

ジムなのに!? 筋トレしないジム

筋トレしないジムというコンセプトで心と体の健康を通じて地域のSDGs推進に貢献する地域密着型ジム

SDGsの取り組みを中心に企業・代表の思いを学生が取材しました。

詳しくは裏面へ

なぜ、“筋トレしないジム”というコンセプトに？

筋肉を鍛えるよりも、呼吸や姿勢・心の状態を整えることを大切にしています。鍛えることも当然重要なのですが、まずは日常の中で当たり前にある動作や習慣を整えることで、自然とカラダもココロも元気になり、「気がついていたら、勝手に健康になっていた」という状態を目指しています。

意識しているポイント



3 すべての人に健康と福祉を
全ての人
心身共に健康な状態



4 質の高い教育をみんなに
自然と健康に繋がるための学びの仕組みづくり



11 住み続けられるまちづくりを
地域と一体となって誰もが安心して暮らせる街づくり



17 パートナーシップで目標を達成しよう
地域の豊かさや健康を大切にしていって
自然とSDGs目標を叶える社会の実現

今後の展望

山梨県を 世界有数のウェルネス県へ

山梨県で誰もが学び、体験できるウェルネス施設の創設を目指しています。行政や医療機関、地域企業と連携し、SDGsの視点を取り入れながら、地域に役立つ接続可能な取り組みを進めていきます。どんな人でも気がいたら体が軽くなっている、そんな社会を地域の皆さんと一緒につくっていきたいです。

学生や若い世代に伝えたい思い

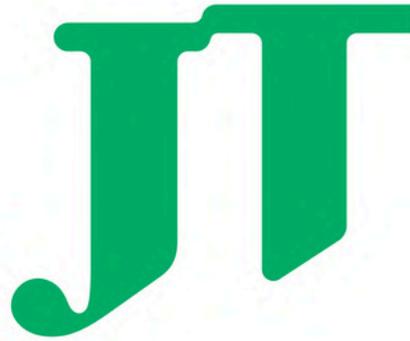
健康や環境は、幸せに生きるための手段であり、本当に大切なのは、自分が心から夢中になれるものや時間を持つことだと思います。私たちは、形だけの取り組みではなく、想いのある活動を大切にしています。SDGsをやるのが目的ではなく、自分たちが熱中できることや地域の人のためにできることを考える中で、結果的に持続可能で豊かな社会に繋がると考えています。



取材協力

代表：近藤 公利 様

心の豊かさを、
もっと。



JT山梨支社の思い

日本たばこ産業株式会社
山梨支社

こんなことに 取り組んでいます

たばこ製品に対して

取り組み

- ・たばこ包装材のアルミ紙を再生可能な包装材へ一部切り替え
- ・たばこ箱の梱包フィルムを薄型化
- ・使用済み加熱式たばこデバイスの回収/リサイクル

企業として

取り組み

- ・地域社会の様々な団体とのパートナーシップを基盤に、様々な取り組みで重点課題3領域（格差是正」「災害分野」「環境保全」）および関連するSDGs項目へ貢献

支社としての 地域に対する貢献

取り組み

- ・環境保全活動（JT小菅の森等）
- ・甲府駅北口アシストエンジニア
よっちゃばれ広場喫煙所の改善協力
- ・営業車のハイブリット化

ご対応いただいた山梨支社の皆様



左から：主任 半田智大様、支社長 後藤雄様、
課長代理 加山善紀様

130以上の国と地域で製品を 販売するたばこ事業を中核 としたグローバル企業

JTグループが掲げる「心の豊かさ」は会社化以前の日本専売公社の時代から経営の中軸に捉えてきた価値観。このチラシでは、SDGsの取り組みを中心に企業・支社の思いを学生が取材しました。

詳しくは裏面へ→

日本たばこ産業株式会社
山梨支社

☎ **055-226-6601**

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内3-32-12
甲府市ニッセイスカイビル7F

JTウェブサイト



<https://www.jti.co.jp/>

JT山梨支社の想い

マテリアリティの一つである「お客様の期待を超える価値創造」について、画期的な製品・サービスを通じ、幅広いお客様や社会に、その期待を超える価値を提供していきたいという当社グループとしての想いを、各事業の取り組みを通じて具現化していくことを目指しています。

その中で、当社グループが掲げる「4Sモデル」は「お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく」ものであり、4Sモデルの考え方に基づき、お客様からのフィードバックを大切にしたいと考えています。



主任：半田 智大様

SDGsに関する具体的な取り組みを教えてください

使用済みの加熱式たばこデバイスの回収や、パッケージの素材をアルミ紙から再生利用な包装材へ変更するなど、品質を維持しながら、環境への負荷低減に取り組んでいます。

また、加熱式たばこデバイスの調達においては、サプライチェーンをトレースして人権侵害や違法な鉱物の使用がないことを確認する取り組みを行っています。



どのような思いでSDGs活動に取り組まれていますか？

心の豊かさをもっと、山梨県に住む方々にお届けするために、地元出身者として、また山梨に住む住民として、自分事として山梨を盛り上げたいという思いで取り組んでいます。山梨県知事の「人口減少危機突破宣言」にも弊社として賛同しており、各種セミナーへの参加や、山梨県主催イベントへの新たな協賛等も検討しています。

現在はサポートする立場に留まっていますが、「JTの森小菅」が終了するため、新たに主体的に取り組むプロジェクトを検討しています。

また、一社だけで何かを成し遂げるのは難しくなっているため、企業間の協力や行政との連携が重要だと考えています。特に人口減少については、山梨県全体で考え、産官学連携で行動を起こしていく必要があります。

山梨支社としての取り組みはありますか？

一つの実例として、甲府駅北口のアシストエンジニアよっちゃばれ広場喫煙所改善の協力をさせていただきました。こちらはたばこを吸われる方の為だけの工夫ではありません。以前は喫煙所にパーテーションがなく、煙が周囲に広がっていました。そこでパーテーションを設置し、煙が周囲に広がりにくくしました。たばこを吸う方と吸われない方双方の立場を踏まえ、お互いが共存できる環境づくりに貢献しています。

また、20歳未満喫煙防止の啓発活動も行っております。SDGsに関連した活動としては、JTの森小菅(森林保全活動・2026年3月終了、20年間の取り組み)、営業車のハイブリット化、ガソリン使用量の継続的にモニタリング等、当社のサステナビリティ目標に基づいて事業を行っています。

地域振興に少しでも貢献できればという思いで、その他様々な施策を山梨県内で展開しています。

学生や若い世代に伝えたい「社会とともにできること。」はありますか？

世の中は常に変化しており、その変化を感じながら仕事や暮らしをしていくことが大切です。また、長期的な視点を持つことも重要で、50年後にどうありたいかという視点で考えることを心がけています。身の回りに限らず、あらゆるものが時代と共に変化します。その変化を感じながら、その変化に応じて必要とされるものが何なのか考えることが大切です。一人一人の頑張りの変化による成果を左右し、それを支えるのは周囲の応援や教えだと日々感じています。

若い世代の方には、お隣のご友人や先輩、同僚の方々等を大事にして、『小さく入って、大きく出る』ことを学んで欲しいですし、私もまだまだ、これから色々学び、成長したいと思います。

「地域とともに、
未来を届ける。」



パルシステム山梨 長野

「安心・安全な食を地域の皆さんにお届け」

地域と社会をつなぎ、安心・安全な食を
届けている協同組合。



地域とつながる「地産地消」

パルシステムでは、県内の生産者と直接契約を結び、地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消」を進めています。生産者と消費者が互いに支えあう仕組みを大切にし、消費も供給も循環するような関係を築きたいと考えています。



池谷好司さん

くらしと社会をつなぐ想い

日々の買い物や行動のひとつひとつが、社会や環境と深くつながっています。そのうえで、地域のイベントやコミュニティを通じ、人と人が支え合う関係を大切にしています。若い世代にも、身近な選択から社会に関わるきっかけを持ってほしいと考えています。



パルシステムの
理念と登録証

未来へつなぐSDGsの取り組み

SDGsの17の目標すべてに関わる取り組みを行っており、ひとつひとつの活動を見直し、地域の人々とともに持続可能な社会を目指しています。

ホームページ <https://www.palsystem-yamanashi.coop>



大学 学部：山梨学院大学 経営学部
名前：角田凌羽



ご協力いただいた甲府事業所の方々 左端：田中弘輝様
右端：内田勝吾様

SDGsの取り組みを中心に学生が取材しました。



リコー
ジャパン株式会社
甲府事業所

共に創る
未来

SDGsの取り組み

自治体・地域との連携

- ◆甲府市とのSDGs推進連携協定
- ◆地域企業と若者の橋渡し
- ◆SDGs出張授業の実施

企業との連携

- ◆生産性向上に繋がる
デジタルサービスの提供
- ◆企業のSDGs/ESGの伴走支援
- ◆環境に配慮した製品の提供

リコーはデジタルサービスとSDGsを同軸化し、社員全体で社会課題の解決と地域貢献を進めている企業です。



地域の強みを活かした独自性のある展開を

SDGsはグローバル共通の社会課題であり、ESGへの対応は企業共通の経営課題と言えます。リコージャパンは、デジタルサービスの会社へ変革し、事業とSDGsを同軸と捉えて、現在様々な取り組みを推進しています。特に山梨支社では、「お客様と共に成長し続ける」をモットーに、社員一丸となってリコージャパンのあらゆる事業内容で地域の皆様の課題を解決し、お客様と共に成長し続けます。



SDGsの取り組みによる価値向上

2023年に、甲府市とSDGs推進に関わる連携協定を締結。以後SDGsの活動を通じて、社内外からの評価も変化しました。

SDGsに関心を持つ県内企業へのSDGs/ESGの伴走支援や県内各学校へ出前授業などの啓蒙活動を行うことにより、次第にその活動が注目され、県や市からのイベント参加や講演・講師の依頼を多くいただくことに。やがてSDGsの輪が社外にも社内にも広がり、今ではそれがリコージャパンと地域との強い繋がりになっています。

社内への具体的な働きかけ

社内で任命した『SDGsキーパーソン』を中心に、事業とSDGsの同軸化を目指し、社内への『はたらく喜び』の浸透・啓発をおこなうほか、個人と組織とができるアクションを計画・実践する『SDGsアクション月間』を設定。さらに社員が自主的に、寄付やボランティアを運営する『FreeWill』などを通して、本質的なSDGsへの理解を深めるとともに、自社の魅力を発見できるイベントや社内研修を実施するなど、社員の意識改革に努めました。

今後取り組みたいこと

これまでの活動に加え、今後山梨支社では再生可能エネルギーの活用やCO₂削減など、環境への取り組みをさらに強化していきたいと考えています。

LED照明や高効率空調システムの導入、断熱建材、断熱・遮光ガラスの採用、自家消費型太陽光発電の設置など、事業の発展と環境配慮を両立し、持続可能な社会に貢献していきます。

学生から見たリコージャパン

今回の取材を通して、リコージャパンは、事業とSDGsとの一体化（同軸化）させることで、SDGsの活動促進をしている企業だということ。

また、自治体との協業や、企業への伴走支援、学生への啓蒙活動などを通じて、地域社会への貢献を行っていることが分かりました。





甲府市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

甲府市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

令和7年度「若者によるSDGs普及啓発事業」

企画: 甲府市企画部連携共創課・リコージャパン株式会社山梨支社

協力: 山梨大学・山梨学院大学